

芦屋市における地域共生社会の実現に向けた取組



兵庫県芦屋市 福祉部

地域共生推進担当 吉川 里香

地域福祉課 岡本 ちさと

今日の内容

- 1 芦屋市の概況，体制，地域福祉計画について
- 2 包括的支援体制の基盤整備の経過
- 3 庁内連携強化による包括的支援体制の整備
- 4 地域住民との協働によるまちづくり
- 5 企業・団体等との協働によるまちづくり

1. 芦屋市の概況，体制， 地域福祉計画について

1. 芦屋市の概況（令和3年10月31日現在）

○人口 95,383人(男性:43,087人 女性:52,296人)

○世帯数 45,159世帯

○高齢者数 28,134人(高齢化率:29.5%)

○要介護認定者数 5,651人

(要介護認定率:20.08%)

○面積 18.47km² 60町区

○生活圏域 3圏域 (山手・精道・潮見)

○地域包括支援センター 4か所

○病院 3か所 ○特養 4か所

○小学校 8校 ○中学校 3校



地域福祉課の体制について

◎地域福祉課

管理係

- 地域福祉の推進に関すること
- 福祉行政の調査・企画,部内の連絡及び調整
- 友愛基金,長寿社会福祉基金等に関すること
- 阪神福祉事業団との連絡・調整
- 遺家族,旧軍人,引揚者等の援護に関すること
- 民生委員・児童委員に関すること
- 社会福祉施設に関すること

- 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会に関すること

地域福祉係

- 地域福祉の推進に関すること
- トータルサポートに関すること
- 生活困窮者自立支援制度に関すること
- 地域支援事業に関すること
- 権利擁護支援に関すること
- 地域包括支援センター,地域包括ケアの推進に関すること(高齢介護課分)

福祉医療係

- 福祉医療助成に関する
こと

一部,
**高齢介護課事業も
所掌**

芦屋市地域福祉計画の変遷

地域福祉計画(平成19年度～平成23年度)

- 保健福祉センター建設

第2次地域福祉計画(平成24年度～平成28年度)

- 保健福祉のマスタープランとして位置づけ
- 「権利擁護」の取組を他の計画へも統一した表記
- 社会福祉協議会の「第6次地域福祉推進計画」と連動
- 「地域福祉アクションプログラム推進協議会」設置
- 「中学生向け概要版」を生徒と一緒に作成
- 創生総合戦略に地域福祉の推進を明記
- 総合計画後期基本計画に「生活困窮者の自立支援と地域からの孤立を予防する」ことを明記

第3次地域福祉計画(平成29年度～令和3年度)

- 行政改革(創発型)プランのプロジェクト化
- 創生総合戦略の事業と連動
- プロジェクトの事業化(ひとり一役推進活動)*事業化

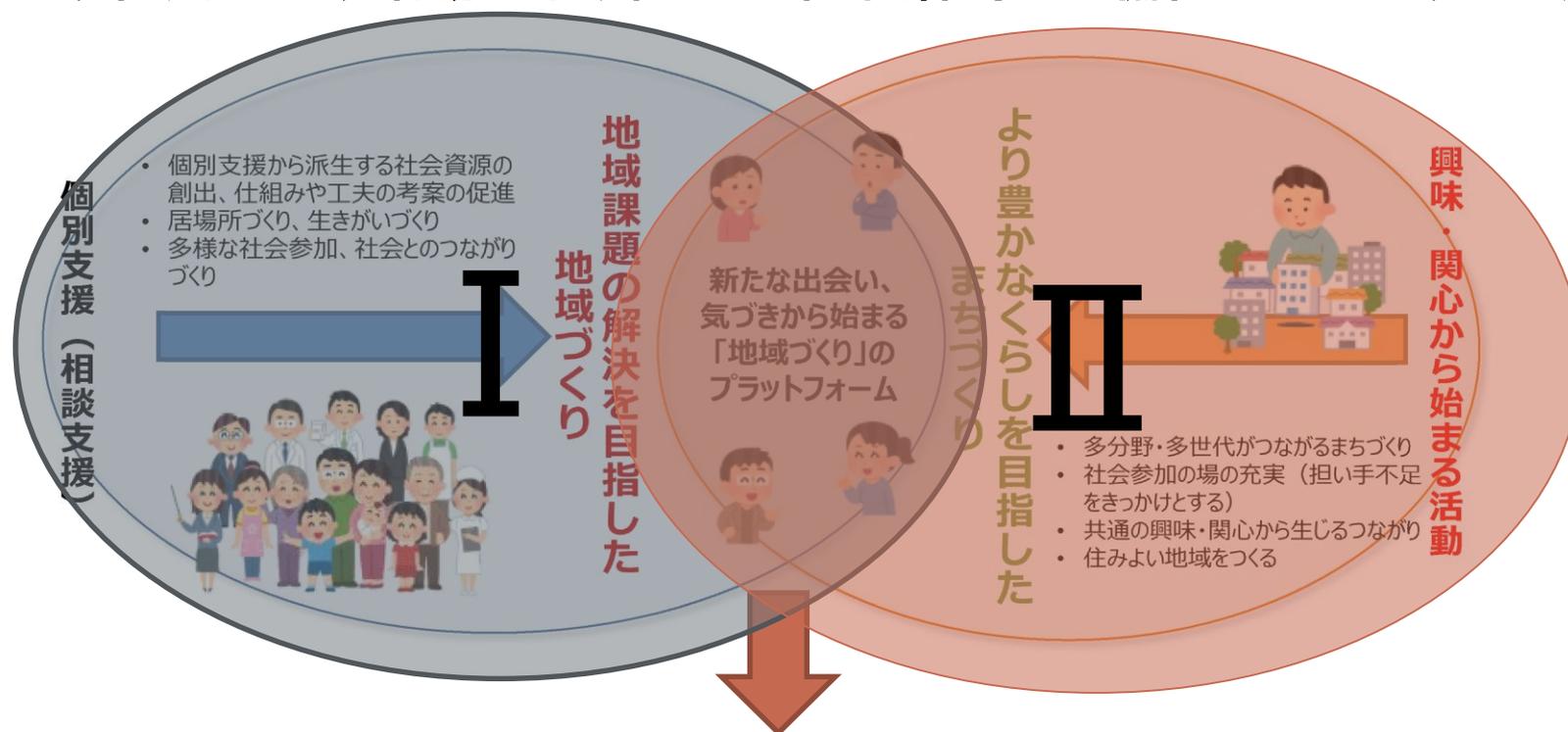


現在,
「第4次地域福祉計画」
策定中

地域共生社会の実現に向けた取組

I 行政庁内及び各分野の相談支援機関の連携の推進

II 地域住民や地域活動に取り組む企業・団体等との協働による地域づくり

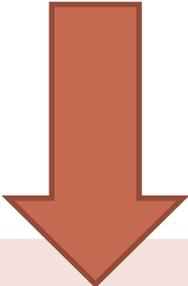


重層的支援体制整備事業の基盤

包括的支援体制の基盤整備 の経過

包括的支援体制の基盤整備の経過①

- ・平成12年度～ 地域ケア体制において「虐待事例」の支援課題 を認識
- ・平成17年度 関係者に「高齢者虐待に関するアンケート調査」を実施
- ・平成18年度 「高齢者虐待防止法(略称)」施行



地域において「支援が必要な高齢者」を
取り巻く課題が明確化

- ① 支援を必要とする高齢者の早期発見の課題
- ② 高齢者虐待の潜在化と顕在化した虐待への対応
- ③ 多問題複合支援ニーズを抱えた世帯への支援体制強化

高齢者と未就労の子の世帯

包括的支援体制の基盤整備の経過②

< 養護者支援を進める中で見えてきた課題 >

- ・ 養護者支援を進める中で多重債務を抱えた家族員による経済的虐待
- ・ 障がいや疾病の判断がつきにくい家族員による介護放棄



特に法的対応

- 最初の相談機関が引き継ぐ先がないまま支援を継続
- 具体的な対応手続が分からない等の問題により法の専門的な支援の必要性
- 制度の狭間にある事案(どの機関も調整や支援をしない等の問題)
- 行政に制度横断的な支援体制の確立が求められる

- ・平成22年度 保健福祉センター内に「総合相談窓口」、「権利擁護支援センター」を設置
- ・平成23年度～ 福祉部地域福祉課にトータルサポート担当(現地域福祉係)設置
- ・平成26年度 「生活困窮者自立支援制度にかかる窓口対応・相談支援ガイドライン」を作成
- ・平成27年度～ 生活困窮者自立支援制度の開始

芦屋市保健福祉センター

～障がいのある人もない人も、高齢者も子どもも、みんな笑顔で集える場～

保健・福祉に関する
機関を集約



- 総合相談窓口
 - 社会福祉協議会
 - 地域包括支援センター
 - 障がい者基幹相談支援センター
 - 権利擁護支援センター
 - 保健センター
 - 子育て支援センター
 - 特別支援教育センター
- 他

専門機関の連携による包括的支援体制の整備 ～総合相談窓口の機能充実と強化～

芦屋市保健福祉センター



総合相談窓口

芦屋市社会福祉協議会

従来から相談の
ワンストップ機能を担う
⇒平成27年度～
機能の拡充と強化

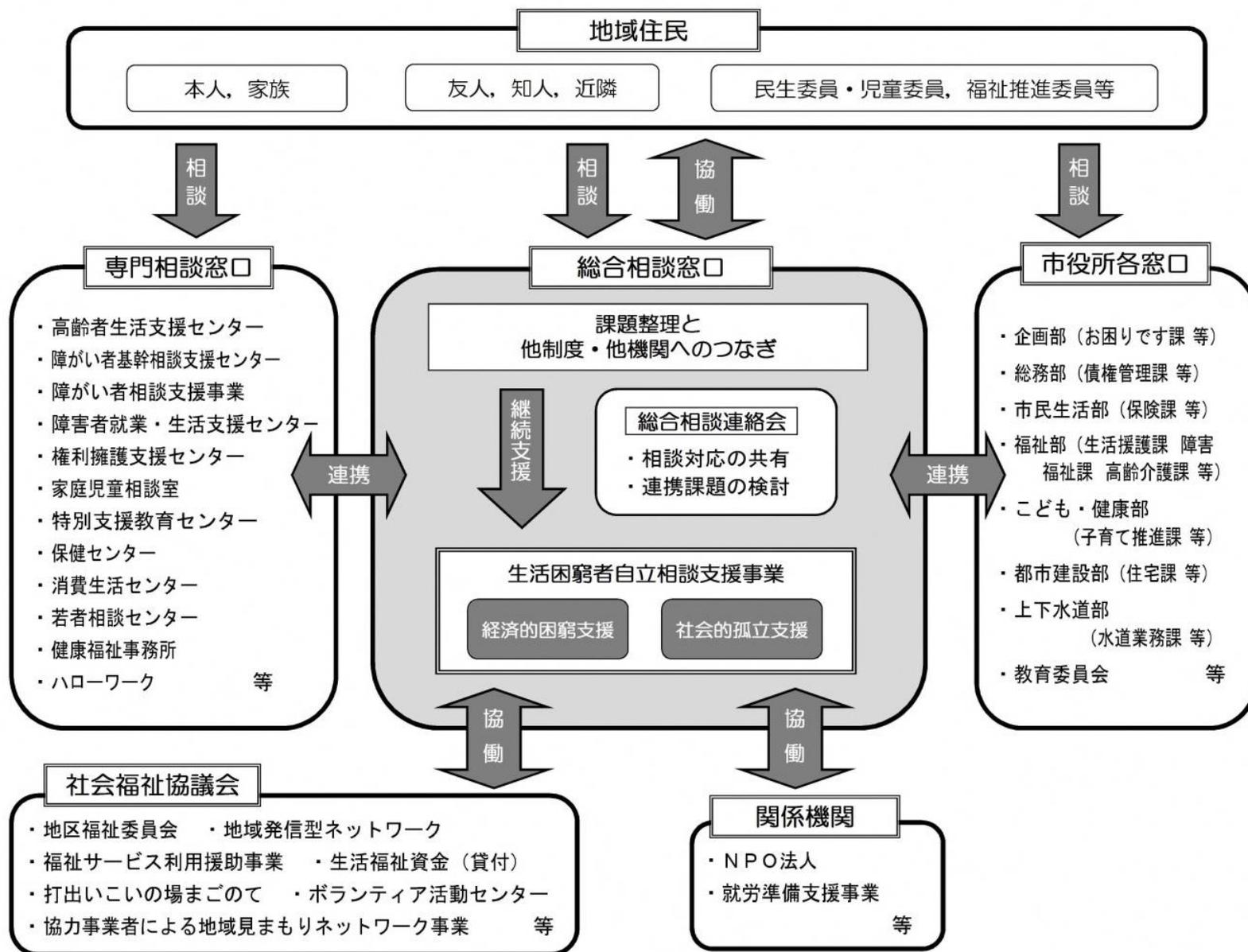
窓口対応

他制度・他機関へ
のつなぎ

自立相談支援事業

- ☆本人と作成したプランをもとに支援を実施
- ☆任意事業の内、「就労準備支援事業」
「子どもの学習・生活支援事業」を実施
- ☆専門機関と連携しながら支援を行っている

総合相談を中心とした連携体制



庁内連携強化による
包括的支援体制の整備
～トータルサポート機能の働き～

トータルサポート機能について①

平成23年4月設置(当初 保健師5名)

- 令和3年度:保健師8名配置(専任2・兼務6)
- 保健師4名は地区を担当し, 他機関からの相談や要請に応じて, 面談や訪問等に同行
- 部署横断的対応・制度の狭間支援を行う
- 保健師の専門性を活かし, 個別支援, 組織支援を行う
⇒住民を「生活者」としてとらえ, 「予防」「自立支援」「地域づくり」の視点を持ち, 個別支援, 組織支援, 地域支援を実施
- 住民は「サービス利用者」のみでなく, 地域で役割を持って生きるという認識(担い手という視点)で支援を実施

トータルサポートを担う保健師の配置状況

◎地域福祉課保健師配置状況



(★は地域福祉課と兼務)

トータルサポート機能について②

組織支援として・・・庁内連携のためのシートの作成・周知

- ① Maybe-Sheet（虐待疑い相談シート）
 - ② Feedback-Sheet
 - ③ Joint-Sheet（自立相談支援機関紹介シート）
- ◆ 庁内向け研修会等により全庁に発信
 - ◆ ③「Joint-Sheet」は、「生活困窮者自立支援制度」の活用を推進するためのツールで、8部17課の職員によるプロジェクト・チームで意見を出し合い作成した「生活困窮者自立支援制度にかかる窓口対応・相談支援ガイドライン」に掲載し、各窓口で周知・活用

庁内連携ツール

Maybe-Sheet

(高齢者虐待(疑い)相談シート)

A票

※太枠内をご記入ください。

記入日	年 月 日			
相談者	氏名	本人との関係 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> が? <input type="checkbox"/> 警察 <input type="checkbox"/> 高齢者支援C <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	住所または所属機関名	電話番号		
本人	フリガナ	生年月日		
	氏名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日 ()	
	居所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 病院 () <input type="checkbox"/> 施設 () <input type="checkbox"/> その他 ()		
	住所			
	介護認定	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援 () <input type="checkbox"/> 要介護 () <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 未申請 <input type="checkbox"/> 不明		
養護者	氏名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	
	続柄	<input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 息子の嫁 <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 娘の婿 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()		
不適切な状況の具体的内容				
1 虐待の可能性	<input type="checkbox"/> 身体的 <input type="checkbox"/> 介護の放棄・放任 <input type="checkbox"/> 心理的 <input type="checkbox"/> 性的 <input type="checkbox"/> 経済的 <input type="checkbox"/> その他 ()			
2 情報源	相談者は <input type="checkbox"/> 実際に目撃した <input type="checkbox"/> 怒鳴り声や泣き声、物音等を聞いて推測した <input type="checkbox"/> 本人から聞いた <input type="checkbox"/> () から聞いた			
3 内容(疑い)	<input type="checkbox"/> 家から怒鳴り声や泣き声が聞こえたり、大きな物音がする <input type="checkbox"/> 暑い日や寒い日、雨の日などに高齢者が長時間外にいる <input type="checkbox"/> 介護が必要なのに、サービスを利用している様子が無い <input type="checkbox"/> 本人の服が汚れている、風呂に入っている様子が無い <input type="checkbox"/> あざや傷がある <input type="checkbox"/> 問いやけに反応がない、無表情、怯えている <input type="checkbox"/> 食事をきちんと食べていない <input type="checkbox"/> 年金などお金の管理ができていない <input type="checkbox"/> 養護者の態度(本人に会わせてくれない、無関心、支配的など)		4 至った要因(疑い)	<input type="checkbox"/> 本人に(認知症・精神疾患・知的に障がい)がある <input type="checkbox"/> 介護度が重度である <input type="checkbox"/> 養護者に(認知症・精神疾患・知的に障がい)がある <input type="checkbox"/> 経済的困難 <input type="checkbox"/> 家庭内の確執、不和あるいは依存関係 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他
	(具体的内容)			

※受付機関記入欄

受付日	年 月 日	受付方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 来所 <input type="checkbox"/> その他 ()
受付機関	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 支援C (<input type="checkbox"/> 西山手 <input type="checkbox"/> 東山手 <input type="checkbox"/> 精道 <input type="checkbox"/> 潮見) 担当:		
添付資料	<input type="checkbox"/> フェイスシート(必須) <input type="checkbox"/> 要介護認定情報 <input type="checkbox"/> 支援経過表 <input type="checkbox"/> チェックシート (D票) <input type="checkbox"/> その他 ()		
緊急性	有無 <input type="checkbox"/> あり (直ちにコアメンバー会議開催) <input type="checkbox"/> なし		
	判断理由		
受理No	H -	受理日	年 月 日 担当支援C <input type="checkbox"/> 西山手 <input type="checkbox"/> 東山手 <input type="checkbox"/> 精道 <input type="checkbox"/> 潮見

Joint-Sheet

(自立相談支援機関紹介シート)

<相談者基本情報>

ふりがな			
氏名			
生年月日	年 齢	歳	
住所			
電話番号(自宅)	電話番号(携帯)		

<ご相談の内容(お困りごと)>

【相談内容】

税・保険料など公共料金等の支払いについて 生活費・家計のこと 債務のこと

病気・健康・障がいについて 住まいについて 仕事探し・就職について

家族関係について その他 ()

【具体的な相談内容】

<電話相談の希望(希望ありにチェックがある場合は相談支援員から直接電話を差し上げます)>

希望あり \Rightarrow 自宅電話 携帯電話
ご希望時間帯等

希望なし

<個人情報提供に関する同意>

本連絡票を、自立相談支援機関に提出すること及び福祉部地域福祉課で管理することに同意します。

平成 年 月 日 署名

担当課の対応 (受付日: / 課名: / 担当者:)

--



自立相談支援機関 (受付日: / 受付者)

自立相談支援機関(福祉センター内 社会福祉協議会)
住所 : 芦屋市呉川町14-9 電話番号 : 0797-31-0681

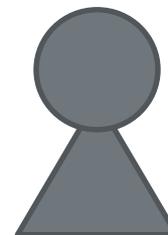
事例紹介

保険課⇒高齢介護課

高齢者と息子の世帯

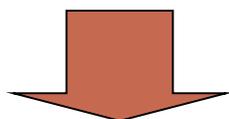
高齢者・・・入浴していなさそう

息 子・・・高齢者に怒鳴っている



保険課
職員

なんだか様子
がおかしい！
高齢介護課に
つないでみよう

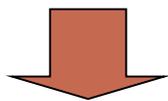


◎ 高齢者虐待における支援展開

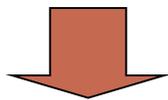
- ・判断能力が乏しい高齢者⇒後見人による財産管理・福祉サービスの契約・利用
- ・養護者⇒介護・金銭管理の負担軽減⇒生活の質向上

窓口職場間の庁内連携ツールを活用した連携

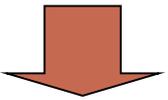
窓口職場が市民の変化に「気づき」



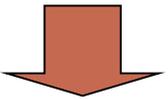
「Maybeシート」を活用



福祉部門に「つなぐ」



福祉部門を主とした支援開始
(虐待対応など)



高齢者, 障がいのある人,
養護者等の自立支援=権利擁護

所管の機能・役割を果たす
だけでなく, 市民を生活
者として捉えた対応へ!

より質の高いサービスへ!

トータルサポート担当設置の成果

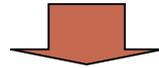
- 行政内の支援の仕組みづくりの基盤整備
⇒ 住民を「生活者」として支援すること
「生活」を構成する様々な要素を所管する関係各課と役割分担しながら、包括的な支援展開と進捗管理
- 「権利擁護」の考え方の浸透
⇒ 住民と対話しながら、生きる力を引き出す
「地域で役割を持って生きる」という認識

横断的対応の実践から生まれるもの(効果・成果)

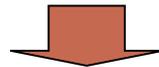
『領域別志向型組織』から『住民生活志向型組織』へ

⇒ 地域特性, 住民個々の特性やニーズに対して, 迅速かつニーズを満たす複数のサービス(地域住民, 関係機関・団体, 関係部署との連携による)を横断的にパッケージして提供

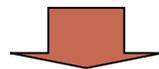
⇒ 環境の変化や住民ニーズが多様で変動性の高い場合にも対応可能



『だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまち』の実現



- 「芦屋市に住んでいて良かった。」という満足感と安心感の実感
- 「芦屋市に暮らし続けたい。」という定住意向の高まりと地域への愛着



良循環のはじまり

職員のモチベーション・サービス向上⇒市民の満足度向上⇒さらなる職員の質向上

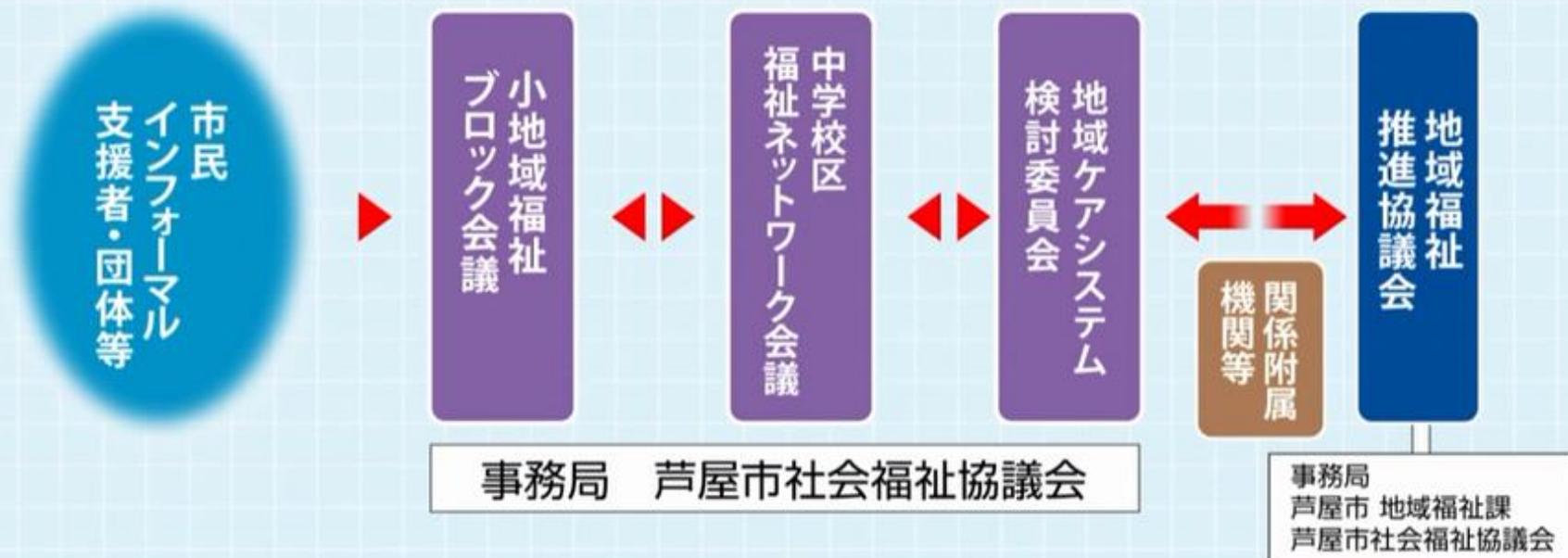
地域住民との協働によるまちづくり ～地域発信型ネットワークの取組～

地域における包括的支援体制の整備

～地域発信型ネットワーク，地域力強化推進事業における取組～

◎地域発信型ネットワーク概念図

(理念)だれもがその人らしく住み慣れた地域で，いきいきと安心して暮らせるまちをめざす



小地域福祉ブロック会議

役割・機能

- ① 地域内における福祉課題の発見と共有
- ② 具体的な活動展開方法の検討と計画
- ③ 役割分担, 活動実施
- ④ 内容の評価



構 成 員

市民, インフォーマル支援者, 団体等

地域住民の日常の活動に合わせた範囲
概ね小学校区の全10カ所

民生児童委員・福祉推進委員・自治会・管理組合
老人会・子ども会・愛護委員・NPO・コミスク・PTA 等

ある地域の取組～様々な団体が企画案を検討～

当日：総勢164人参加

学校や子育て世代
へ声掛けするわ

当日寒いから、
カイロを用意す
るよ



コミスク
(委員長)

自治会

当日の受付まか
せといて！

認知症サポーター養成講座



高齢者生活支
援センター

認知症の話
をします

チラシ
作ります

社協

老人会



福祉委員会

劇団「それいゆ」
再結成！
寸劇やるわ

チラシ全戸
配布するわ



認知症サポーター養成講座
実行委員会で役割分担



地域ケアシステム検討委員会

役割・機能

- ① 地域発信型ネットワーク全体の会議体の進捗管理と評価
- ② 地域発信型ネットワーク各会議体のコーディネート
- ③ 委員の所属する機関, 団体での活動, 業務への反映, 施策化の検討
- ④ その他, 目的達成のために必要な事項に関すること

構 成 員

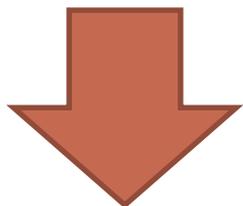
- ・市民(5名)
- ・地域福祉課
- ・生活援護課
- ・障がい福祉課
- ・高齢介護課
- ・子育て推進課
- ・健康課
- ・教育委員会学校教育課
- ・兵庫県芦屋健康保健事務所
- ・地域包括支援センター基幹的業務担当
- ・障がい者基幹相談支援センター
- ・権利擁護支援センター
- ・生活困窮担当(社会福祉協議会)
- ・生活支援コーディネーター



地域ケアシステム検討委員会での取組 ～「気づき」のポイントチェックシートの作成～

【住民からの意見】

- ・「コロナ禍でこれまでの日常の交流がなくなり、日々の見守りができず困っている、見守りにも工夫が必要」
- ・「対象者の発見のポイントが分からない」
- ・「気になる人を見つけてもどう専門職につなげてよいか分からない」



「地域ケアシステム検討委員会」で検討

「気づきのポイントチェックシート」の作成

- ▶ 見守りのポイントと相談先を掲載
- ▶ 相談先が分からない際の相談窓口として、「総合相談窓口(福祉なんでも相談)」を記載

- ・民生児童委員・福祉推進員に配布
- ・「専門職向けシート」「事業所向けシート」を作成予定

ご近所の「気かけあい」のための

「気づき」のポイント チェックシート



令和3年3月 芦屋市地域ケアシステム検討委員会作成
(事務局: 芦屋市社会福祉協議会 0797-32-7525)

地域の皆様へ

ご近所さんが心配だったり気になったりするけれど、どんなことを気かければいいのか？どこに連絡すればいいのか？
そんな時に活用していただけるように、このチェックシートを作成しました。
ご連絡の際は、「『気づき』のポイント チェックシートを見た」とお伝えください。

緊急度 高 ためらわずに通報してください。あなたから通報があったことを、対象者やその家族などに伝えることはありません。

生活(暮らし)に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 電気・ガス・水道・電話が止められている
<input type="checkbox"/> 家賃・税金・保険料等が支払えていない
家族との関係に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 怒鳴り声や泣き声がよく聞こえる
<input type="checkbox"/> 身体にあざや傷がある
心や体の具合が悪いのかも？
<input type="checkbox"/> 郵便物や新聞が取り込まれていない・溜まっている
<input type="checkbox"/> パニックになって意思の疎通が図れない
<input type="checkbox"/> 「死にたい」と話す、自殺を試みる
<input type="checkbox"/> 何も食べていない様子、痩せてきている
認知症で困っているかも？
<input type="checkbox"/> 同じ詐欺に引っかかる
<input type="checkbox"/> 見慣れない業者等がよく家に入出入りしている

緊急度 中 少しでも「気になる」と思ったら相談してください。早期に専門機関につなぐことで、問題が複雑化することを防げるかもしれません。

生活(暮らし)に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 生計中心者が入院、または死亡した
<input type="checkbox"/> 必要な医療や介護を受けられていない様子
家族との関係に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 家族
<input type="checkbox"/> 「系

緊急度 低 心だんの暮らしの中でさりげない見まもりが、地域の支え合いの第一歩です。「大丈夫かな?」「心配だな」と思ったときに、相談するところがあります。

心や体の
<input type="checkbox"/> 最近
<input type="checkbox"/> 元々
<input type="checkbox"/> い
地域や!
<input type="checkbox"/> い
<input type="checkbox"/> 騒
認知症
<input type="checkbox"/> 家
<input type="checkbox"/> ゴミ
<input type="checkbox"/> 服
<input type="checkbox"/> 服
生活(暮らし)に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 介護のために仕事をやめた
<input type="checkbox"/> 母子・父子世帯で心配ごとを抱えている様子
家族との関係に困っているかも？
<input type="checkbox"/> 一人で家族の介護をしている
<input type="checkbox"/> 介護・子育て・夫婦関係などに悩んでいる様子
<input type="checkbox"/> 子どもの何気ない一言で気になるところがあった
心や体の具合が悪いのかも？
<input type="checkbox"/> 地域の集まりなどに来る回数が減っている
<input type="checkbox"/> よく救急車やパトカーが来ている
<input type="checkbox"/> 歩くのが遅くなった、歩き方がおかしい
<input type="checkbox"/> 話しの内容が特徴的、論点がとぶ
<input type="checkbox"/> 昼間にあくびが多い(夜、あまり眠れていないのかも?)
地域や家庭から孤立しているのかも？
<input type="checkbox"/> 家族と暮らしているが、一人で過ごす時間が長い
<input type="checkbox"/> 相談できる人や頼れる人が近くにいない
<input type="checkbox"/> 外出の機会や仲間づくり、役割を求めている
<input type="checkbox"/> 外国籍で、ゴミ出しのルール等が分からない様子
<input type="checkbox"/> 長い間、働いていない様子
認知症で困っているかも？
<input type="checkbox"/> 虫刺されや日焼けがひどい(ずっと外を歩いているのかも?)
<input type="checkbox"/> 何度も同じことを話す



「相談したらどうなるの?」「どんな支援をもらえるの?」
「私が連絡したことは言わないでほしい」「地域で大きごとにしたくない」
…そんな疑問やあなたの思いも、ぜひお聞かせください。

連絡・相談先

■お金・住まい・仕事のこと または どこに相談すればよいかわからない時
総合相談窓口(福祉なんでも相談)
0797-31-0681 (平日午前9時~午後5時半)
迷ったら ココ!!
FAX: 0797-32-7529
メール: kurashi@ashiya-shakyo.com

■子どものこと(18歳未満)
子ども家庭総合支援室
0797-31-0643
(平日午前9時~午後5時半)
FAX: 0797-31-0647
夜間・休日は 0798-45-5535

■ご存知ですか?地域の身近な相談先
民生委員(さん) ☎ -
自治会長(さん) ☎ -
(さん) ☎ -
民生委員が分からない時は…
福祉部地域福祉課 0797-38-2153

■障がいのこと
障がい者相談支援事業
0797-31-0692
(平日午前9時~午後5時半)
福祉部障がい福祉課 0797-38-2043

■介護・高齢者・認知症のこと
高齢者生活支援センター
西山手 0797-25-7681
東山手 0797-32-7552
精道 0797-34-6711
潮見 0797-34-4165
福祉部高齢介護課 0797-38-2044

高齢者生活支援センター(地域包括支援センター)の担当地区

西山手
奥山・奥池町・奥池南町・山手町・山芦屋町・東芦屋町・西山町・三条町・月町町
西芦屋町・大原町・船戸町・松ノ内町・業平町・上宮川町・三条南町・前田町・清水町

東山手
六籠荘町・岩園町・楠町・翠ヶ丘町・親王塚町・朝日ヶ丘町・東山町

精道
茶屋之町・大榎町・公光町・川西町・津知町・竹園町・精道町・浜芦屋町・伊勢町
松浜町・平田北町・平田町・打出小嶋町・宮塚町・若宮町・宮川町・浜町・西蔵町
呉川町・春日町・打出町・南宮町・大東町

潮見
若葉町・緑町・潮見町・高浜町・新浜町・浜風町・陽光町・海洋町・南浜町・涼風町

企業・団体等との協働によるまちづくり ～「こえる場！」の取組～

< 「こえる場！」の取組の経過 >

プロジェクト・チーム発足
(H29.6)

全世代交流
健康増進
高齢者の社会参加

「こえる場！」
(H29.10)



取組の経過

【H29】

- ・多様な主体が一堂に会し、「目指すべき未来」の共有やそれを実現するための意見交換を実施した
- ・「こえる場！」参加団体がつながる連携事例が生まれた

【H30】

- ・参加者から提案されたテーマ(食・子育て・多世代共助・学び・その他)に試行的に取り組んだ

【R1】

- ・参加者がそれぞれの領域から「こえている」取組について提案し、具体的な活動に向けて検討した
- ・「こえる場！」の活動促進につなげることを目的に、シンボルマークを作成した

【R2】

- ・コロナ禍での活動についてオンラインの活用等を検討した

【R3～】

- ・これまでの活動を踏まえ、「こえる場！」の機能・運営体制等を整理する
- ・ホームページを活用した情報発信を行う
- ・ニーズと資源等のマッチングにより活動を促進する

< 政策方針の変遷 >

地域共生社会の実現(H28.6.2 ニッポン一億総活躍プラン)

行政改革
(H29～R2)

未来へ向けた成長戦略型
【目指すべき未来】
Ⅱ人々の笑顔が溢れる
【施策の方向性】
全世代が住みよいまちづくり

改正社会
福祉法
(H30.4)

地域力強化モデル事業

創生
総合戦略
(R3～R7)

第2期芦屋市創生総合戦略
【基本目標2】
人がつながり活躍し、暮らしの
魅力が高まる住宅都市
【重点プロジェクト2】
芦屋の未来へ、多様なつながり
で新たなまちのチャレンジ

改正社会
福祉法
(R3.4)

重層的支援体制整備
事業
Ⅱ参加支援事業
Ⅲ地域づくりに向けた
支援

第4次地域福祉
計画(R4.4～)

「こえる場！」の活動について明記予定

「こえる場！」の位置づけと機能



多様な主体が集う
相乗効果

新たな可能性の発見

地域課題の解決

人がつながり 誰もが輝く
笑顔あふれる住宅都市

「こえる場！」参加企業・団体(R4.1時点)



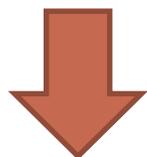
- 1 アイザワ証券株式会社
- 2 株式会社アクティブライフ
- 3 学校法人芦屋学園芦屋大学
- 4 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会
- 5 芦屋市民生児童委員協議会
- 6 株式会社芦屋人
- 7 株式会社笠谷工務店
- 8 社会福祉法人かんでん福祉事業団 エルホーム芦屋
- 9 社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑
- 10 社会福祉法人三田谷治療教育院
- 11 社会福祉法人聖徳園 あしや聖徳園
- 12 生活協同組合コープこうべ
- 13 地域福祉アクションプログラム推進協議会
- 14 ちきゅうっ子応援隊
- 15 阪急阪神ホールディングス株式会社
- 16 兵庫県住宅供給公社
- 17 株式会社フィッシングマックス
- 18 株式会社プランツ・キューブ
- 19 株式会社ポップ・アイディー



芦屋市行政改革〔平成29年度ー平成33年度〕

少子・高齢化と人口減少に立ち向かうために・・・

- 子育てしやすいまちづくりにより子育て世代の流入促進
- 魅力あるまちづくりにより人口流入促進



「未来へ向けた成長戦略型」の行政改革の展開

NO	目指すべき未来	施策の方向性
I	地域社会が子どもたちを育む	〔子育てしやすいまちづくり〕
II	人々の笑顔が溢れる	〔全世代が住みよいまちづくり〕
III	まちの魅力を高める	〔流入を促進するまちづくり〕
IV	職員が生き生きと働く	〔働いてみたい市役所づくり〕

健康増進・全世代交流プロジェクト

〔取組内容〕

健康増進事業や生涯学習の推進，全世代交流の環境整備など，多様な主体と連携しながらいつまでも健康で生き生きと暮らせる環境の整備

- ◆ 健康増進施策の推進と高齢者の社会参加の促進プロジェクト・チーム
- ◆ 全世代交流に向けたプロジェクト・チーム

全世代交流プロジェクトの軌跡①

■ 多様な主体の自発的福祉を高めるため、連携を模索するためインタビューに行くことに！

時 期	検討内容等
活動に向けた準備 平成29年5月26日(金) 午後3時～4時30分 於:同志社大学 出席者 14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法の改正の背景・趣旨 ・ プロジェクト・チーム(以下「PT」)の進め方 ・ 意見交換
第1回 平成29年6月7日(水) 午後1時30分～3時30分 出席者 30名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「芦屋市行政改革」について ・ 各プロジェクト・チームの設置について ・ 講話(講師:日本福祉大学 平野教授) 「社会福祉法改正にかかるPT設置の意義と役割」 ・ 意見交換
第2回 平成29年7月25日(火) 午後1時30分～3時30分 出席者:18名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回目の振り返り ・ 「多様な主体への働きかけ」について ・ グループワーク <ol style="list-style-type: none"> ① インタビューを実施する対象主体の選定 ② インタビュー内容 ・ 発表によりPT全体で共有

社会福祉法の改正に伴う自発的福祉の推進, 多様な主体との連携の必要性を学びました。

PTのメンバーで, まずどの主体(企業, 団体)に働きかけていくか話し合いました。

企業・団体等へのインタビュー

主なインタビュー内容

- 企業・団体等の理念・コンセプト
- 地域に関する取組
- 現在、課題として捉えていること
- 行政機関等との連携事例
- 地域と連携することについて
- 地域との連携・行政との連携の手法
- 行政・市職員に期待すること
- 今後取り組みたいと思っていること

- ・多くの企業・団体が、社会貢献につながる取組に関心がある
- ・社会貢献をする上で、地域のニーズを知りたいと思っている
- ・市や他の企業・団体と連携して、Win-Winの取組をしたいと思っている

インタビューを行った企業・団体等が集まる機会を設定してみよう！

「こえる場！」の開催

ネーミングに込めた思い・・・それぞれの領域(業務・担当等)を“こえる”場

全世代交流プロジェクトの軌跡②「(仮)こえる場！」開催①

■多様な主体と芦屋市行政改革プロジェクト・チームとの交流会を開催(H29.10.6)

【参加団体】 インタビューを行った団体から20団体, 36名の方にご参加いただきました！

1	阪急阪神ホールディングス株式会社	11	ミズノ株式会社
2	株式会社三井住友銀行	12	ミズノスポーツサービス株式会社
3	兵庫県住宅供給公社	13	株式会社フィッシングマックス
4	芦屋いずみ会	14	特定非営利活動法人芦屋市体育協会
5	株式会社タニタヘルスリンク	15	尼崎ENGAWA化計画
6	生活協同組合コープこうべ	16	芦屋市民生児童委員協議会
7	認定特定非営利活動法人フードバンク関西	17	朝日ヶ丘コミュニティ・スクール
8	学校法人芦屋学園 芦屋大学	18	芦屋市民生児童委員協議会
9	学校法人甲南学園 甲南大学	19	社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑
10	株式会社トライグループ	20	社会福祉法人聖徳園 あしや聖徳園

【オブザーバー】※生活支援コーディネーター(団体19~23)も参加

21	一般財団法人芦屋ハートフル福祉公社
22	株式会社アクティブライフ
23	社会福祉法人かんでん福祉事業団
24	学校法人日本福祉大学 日本福祉大学

市職員含め,
総勢72名が参加！

＜芦屋市長より＞

現在, 人口減少・少子高齢化に起因する諸課題を中心に据え, 本市がより魅力あるまちとなるよう取組を展開しているところです。

本日の交流会が, 「目指すべき未来」に向けた本市とみなさまの新たな「創発の場」となることを期待しています！

全世代交流プロジェクトの軌跡③ 「(仮)こえる場！」開催②

■ 多様な主体の取組紹介(芦屋市がインタビュー結果の資料を作成し、その資料をもとに参加団体が順番に地域づくりにつながる取組等をプレゼン)

Create The Future ASHIYA CITY OF I.C.G.R.E.

芦屋市プロジェクト・チームによるインタビューまとめ

～健康増進施策の推進と高齢者の社会参加の促進PT・全世代交流に向けたPTの活動より～
(平成29年7月27日～10月2日)

目次

- 1 阪急阪神ホールディングス株式会社・・・P1
- 2 株式会社三井住友銀行・・・P1
- 3 兵庫県住宅供給公社・・・P2
- 4 芦屋いずみ会・・・P3
- 5 株式会社タニタヘルスリンク・・・P3
- 6 生活協同組合コープこうべ・・・P4
- 7 認定特定非営利活動法人フードバンク関西・・・P4
- 8 学校法人芦屋学園 芦屋大学・・・P5
- 9 学校法人甲南学園 甲南大学・・・P5
- 10 株式会社トライグループ・・・P6
- 11 ミズノ株式会社・・・P6
- 12 株式会社フィッシングマックス・・・P7
- 13 特定非営利活動法人芦屋市体育協会・・・P7
- 14 尼崎ENGAWA化計画・・・P8
- 15 芦屋市民生現業委員協議会・・・P8
- 16 朝日ヶ丘コミュニティ・スクール・・・P9
- 17 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会・・・P9
- 18 社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑・・・P10
- 19 社会福祉法人聖徳園 あしや聖徳園・・・P10

● 芦屋市



芦屋市プロジェクト・チームのインタビュー報告の様子



日本福祉大学
平野教授より
「取組の意義」の語り

阪急阪神ホールディングス株式会社

Create The Future ASHIYA CITY OF I.C.G.R.E.

▶ 地域づくりにつながる取組や活動など

- 健康ポイント事業
スマホアプリ、WEBサイト、フリーペーパー等の活用
リサコンと連携、さらにツール改良。
- 健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス連携事業
糖尿病重症化予防事業
- 上記二つを含めた、健康寿命延伸沿線産官学民連携
- ソーシャル・インパクト・ボンド活用の推進
神戸市で始まった糖尿病重症化予防事業
- 地域包括ケア支援ICT
総合データベースの構築 母子ヘルスケアへの展開

▶ 印象に残った言葉

- 絆をもち企業として自治体間の連携支援することで横串を制することができる。
- 多くの自治体と連携することができ、治療にお住まいの方の健康状態を良好に保つことができれば、ひいてはそれらが治療の居住魅力となる。

● 芦屋市

株式会社三井住友銀行

Create The Future ASHIYA CITY OF I.C.G.R.E.

▶ 地域づくりにつながる取組

- 子ども銀行たんけん隊
・主に夏休み期間に小学生未満対象に、銀行を知っていただくため、「ATMの裏側の見学」「お札を数える」「現金一億円との記念撮影」等を行う。
- 制度型融資
・環境配慮型融資
(例) 高速道路会社：森林伐採の減少、アイドリングストップ、逆走防止等の環境配慮を行う企業への評価型融資
・なでしこ融資
(女性活躍推進企業に対して一定の評価に基づき金利優遇)

▶ 印象に残った言葉

- 多くの企業とのつながりがある銀行だからこそ、企業と企業、企業と市役所をつなぐ機軸ができる。
- 三井住友銀行を知ってもらい、身近に感じてもらえることを銀行の喜びと考え、積極的に地域貢献を行っていきたい。

● 芦屋市



兵庫県住宅供給公社

Create The Future ASHIYA CITY OF I.C.G.R.E.

▶ 地域づくりにつながる取組

- 暮らしの安心・安全の確保
・防災・防犯・安全・安心の確保
・防災・防犯・安全・安心の確保
・防災・防犯・安全・安心の確保

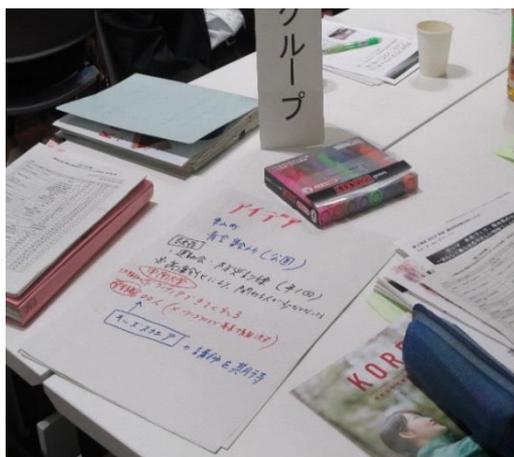
▶ 印象に残った言葉

- 地域づくりにつながる取組、地域づくりを推進することができ、企業と企業、企業と市役所をつなぐ機軸ができる。
- 三井住友銀行を知ってもらい、身近に感じてもらえることを銀行の喜びと考え、積極的に地域貢献を行っていきたい。

● 芦屋市

全世代交流プロジェクトの軌跡④ 「(仮)こえる場！」開催③

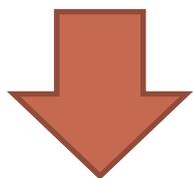
- 「未来に向けた取組」について意見交換・グループワークを実施
- 最後に、名刺交換，フリートークで次につながる交流を行う



全世代交流プロジェクトの軌跡⑤

「(仮)こえる場！」の実施結果から分かったこと

- ◆ 多様な主体同士の連携により、新たな取組が生まれる可能性がある！
- ◆ 多様な主体はすでに、地域づくりにつながる取組を進めている！
- ◆ 「具体的な取組のアイデア出しや行動が必要ではないか」との意見あり
- ◆ 多様な主体も行政もこの取組を市民にPRしたい！



多様な主体と行政，多様な主体同士が連携できる手法のひとつとして…

イベントの企画・実施

全世代交流プロジェクトの軌跡⑥

〔イベント〕芦屋なんでもフェスタ～何かに出会える休日～

芦屋なんでもフェスタ
～何かに出会える休日～

入場無料

日時
平成30年3月21日(水・祝)
午前11時～午後3時
会場 / 芦屋市総合公園

スタンプラリー開催!!
色んな体験をしてスタンプを集めよう!
スタンプを7つ集めて
抽選に参加し景品をゲット!!

こえる場!とは?
地域活動を行っている企業・団体等と芦屋市がつながり、
「健康増進」、「高齢者の社会参加」、
「全世代交流」を進め、
様々なアイデアを実現していく
「取組」のことです。

主催 芦屋市、芦屋市教育委員会
共催 ミスノ株式会社、芦屋市社会福祉協議会
協賛・協力
こえる場! 参加企業・団体及び関連企業・団体、
芦屋市商工会、芦屋市商工会青年部、
芦屋市商工会女性部、兵庫県芦屋警察署

**ミニステージ
タイムスケジュール**

●午前11時～午前11時40分 オープニング
【甲南高等学校・中学校 プラスアンサンブル部】
＜(学)甲南学園 甲南高等学校・中学校＞
甲南高等学校・中学校プラスアンサンブル部のモットーは
“Be Happy Together”です。皆さん一緒に楽しみましょう!

●午前11時45分～午後0時15分
【楽しく脳神経シナプソロジーに大集合!】
＜(脳)脳神経学研究会＞
総愛智がいのある人や音響六についての
お話しとPRのデモンストレーションにより
音響六への理解を深めましょう!

●午後0時50分～午後1時35分
【PR犬によるデモンストレーション】
＜(犬)兵庫県盲導犬協会＞
総愛智がいのある人や音響六についての
お話しとPRのデモンストレーションにより
音響六への理解を深めましょう!

●午後1時40分～午後2時25分
【元プロバスケットボール選手による
～健康と運動～の講演】
＜(脚)トライアングルーフ＞
日常生活でもできる簡単な運動を学びながら、
健康な体づくりを学べます!

●午後2時30分～午後2時55分
【世代を超えて、つながる社会のつくり方】
＜(心)D-net 関西支部・(心)せらくん、あしや音楽隊、
(心)脳神経学研究会、あしや音楽隊、甲南高等学校・中学校の音楽部、
世代や所属を超えたチームで、社会課題解決の
ためのアイデアを考え、その成果を発表します。＞

●午後0時20分～午後0時45分
【マスコットキャラクター紹介】
午後3時30分から路上駐車場で
キャラクター写真がとれます!

●午後11時～午後0時40分
【時代を超えて、つながる社会のつくり方】ワークショップ 見学自由
＜(心)D-net 関西支部・(心)せらくん、あしや音楽隊、(心)脳神経学研究会、甲南高等学校・中学校の音楽部＞

●午後1時～午後3時
【トライアングルーフプログラミング教室体験会】＜(心)トライアングルーフ＞【入場料・先着順】
ロボットを作り、プログラミングを楽しく学ぶことでロボットを動かそう!
プログラミングの楽しさを体験できます。
第1回 午後1時～午後1時50分 第2回 午後2時～午後2時50分
【対 象】小学3年生～中学1年生 【定 員】各回15名 【発 行】社会課入場口

●午後1時～午後3時
【親子クラブづくり教室】
＜(心)スズメ/ミズノスポーツサービス＞
クラブづくりを通して、親子の絆と成長を大切にできる体験を育みます。
【申込先】芦屋市総合公園 ☎0797-25-2023 受付時間3/11～3/12 2名先着順
【対 象】小学3年生～6年生 【定 員】10組 【期 間】3/11(日) 3/12(月) 9:500円(税込)

屋外ブース
①～⑩各のブースを回ってスタンプを押してもらおう!
裏面のスタンプシートが1つ揃えば「総合受付・景品交換所」
までお越しください。抽選で景品ももらえます。※数量限定

- 1 「モトタイル」で
楽しく体を動かそう!
- 2 芦屋浜高層住宅団地
またあしたプロジェクト
- 3 クラフト体験講座
～手作りやってみよう～
- 4 計量ゲーム
～必要な野菜ってどれくらい?～
- 5 普段から備える
サバイバルクッキング!
- 6 J:COM発信の「防災・災害
情報」の活用について!
- 7 イスメンズと学ぼう!
交通安全
- 8 ハルーンアート
- 9 音響犬ワンダフル
- 10 あしゅ子集まわ!
がちゃポンであかしをゲット!
- 11 いくつかめるかな?
まめつかみゲーム!
- 12 手づくり扇で遊ぼう
- 13 拳刺チャレンジ!
ザ・声大!
- 14 家族でワイワイ!
キックターゲット
- 15 シナプソロジー!
今話題の脳活性化体験
- 16 せらくん(ヘルスケア!)
介護相談&AGES測定体験

飲食ブース

- 17 行列がでる!
暮楽苑(LSA)のたご焼き
- 18 芦屋の美味しいもん
揃えました。
- 19 “せらく”の
ピーアシチュー
- 20 お履もココロも
ポツカホカ

会議室企画

あしやコミュニティ
cafe
コラボ企画
21) ロカマ分庫、はしめせんか?
22) せらくん(ヘルスケア!)の活用
23) せらくん(ヘルスケア!)の活用

出展ブース(飲食・体験・工作等23種類) / ミニステージ / スタンプラリー等

残念ながら、
雨天により中止

「こえる場！」の成果①(参加者・職員アンケートによる)

1 多様な主体との関係性の構築

- 今まで関わることがない方々と顔合わせ、交流ができてよかった。
- 主体同士が連携できる可能性を感じた。

2 地域づくりにつながる取組の推進

- 各団体が地域へ向けた様々な取組を行い、地域とのつながりを持つようとしていることがわかったので参考にしたい。

3 芦屋市が目指すべき未来の共有(芦屋市行政改革)

- 異業種の民間企業が集まり、芦屋市を良くしようと知恵を出し合うことがいい刺激になった。他団体と連携することで新たな何かが出来る可能性を感じた。
- 行政、市民が届かない部分に対して、企業が埋めていくようになれば良いと思う。

4 芦屋市職員の人材育成

- 行政は「受け身」というのが率直なイメージだったが、完全に変わった。現在・未来に直面する問題について、改革プロジェクトを結成し、様々な課題解決をしようとしていることが理解できた。

「こえる場！」の成果②～出会い・つながり・連携～

① あしやキッズスクエア（放課後子供教室）

芦屋市社会教育部青少年育成課

× 株式会社フィッシングマックス

◆子どもたちに釣りの授業を実施！



② J：COMチャンネル デイリーニュース放送



株式会社ジュピターテレコム

× 社会福祉法人かんでん福祉事業団

◆オレンジカフェ「フォーラム」の様子を取材！

③ 食料支援

特定非営利活動法人フードバンク関西

× 生活協同組合コープこうべ

× 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会

◆各企業・団体の強みを生かした連携に向け協議開始！

「こえる場！」の成果③

～企業・団体等から提案されたテーマに協働して取り組む～

企業・団体等より、日頃の活動の中で感じている地域課題や企業・団体等が持つ強みや資源に関連するテーマを提案いただき、そのテーマに関心のある人が集まり取組を実施

平成30年度の取組



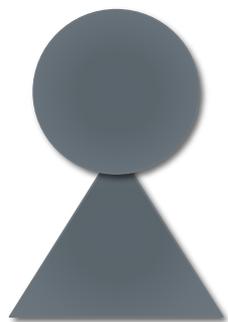


1,000人を超える
ネットワークを構築しながら、
多様なアイデアや資源を活かした
取組を行いました！



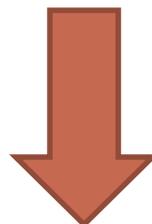
「こえる場！」の成果④

～企業・団体のニーズをマッチング～

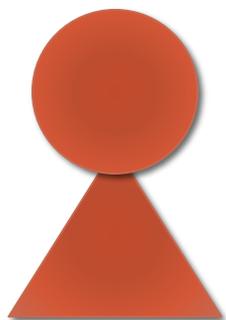


(福)三田谷治療教育院
(就労準備支援事業)

- ・事業の利用者に, PCを使うのが得意な人がいる
- ・スキルを活かした「就労体験」ができないか



「こえる場！」
参加事業者呼びかけ



(株)ポップ・アイディー
(看板製作等を行っている市内企業)

- ・PCが得意な人に手伝ってほしい仕事があるので、
就労体験ができますよ！

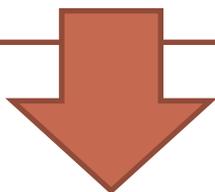


就労体験後, 継続して就職中

「こえる場！」のブランディング

企業・団体等からのご意見・・・

- ・「こえる場！」の活動をもっと市民にPRしたい
- ・「こえる場！」に参加することの「価値」を高めたい
- ・「こえる場！」に参加してみたいと思ってもらえるような発信ができればいい



シンボルマークの作成

ワークショップを開催し、「こえる場！」への思いや、シンボルマークに込めたい思いを出し合って作成



「形」が表すもの

- ①笑顔の口⇒手をつないで、つながって、ひろがって、支え合って
- ②山の形⇒芦屋のAと未来へ向かってホップステップジャンプ

これから、シンボルマークも活用して活動を広げていこう！というときにコロナ禍へ・・・

「こえる場！」に取り組んでみて



行政がこれまで実践したことの無い
「協働」の手法

模索中

- ・ 企業・団体等の立場や考え方を理解すること
- ・ 関わりを継続するための会議や情報発信の工夫
- ・ 取組のアイデアを生み出す難しさ

事務局運営にも、
企業・団体等の
力を得ながら進めている

ご清聴ありがとうございました

